No.22

No.21

No.20

No.19

■法泉寺温泉

春屋和尚ゆかりの地に留錫のとき、手にした材質を地中に突き立てられたところ、そこから浪々と霊泉が湧き出したと寺伝としています。今も中庭の一隅にその泉源があり、遊れることなく恒久に湧いています。

No.17

No.18

■吉岡彌生記念館

掛川出身の吉岡彌生は、東京女子医科大学の創始者として、日本の近代医学史に大きな足跡を残した人物です。女性の社会参画と地位向上をテーマとする思想が「志」「翔」「愛」のステージに展開されています。

■かけがわ西の市

掛川市北西部にある、約300名の出荷者でつくった直売所です。新鮮な農産物とそれらを使った手作り弁当や惣菜、美しい花々等が皆さんのご来店をお待ちしています。

No.1

■加茂荘花鳥園

桃山時代より続く加茂家は、白壁土蔵、長屋門をめぐらせた古い庄屋屋敷。山里の情緒豊かな雰囲気の中、門前に広がる花鳥湖園は必見。園内には展示温室も備え、鳥たちとのふれあいも楽しめます。

■なららこキャンプ場

掛川市の山間部に位置し、森と清流に囲まれた「なららこの里」で、四季折々に変化する大自然を感じながら、キャンプや温泉をお楽しみください。コテージ5棟、バンガロー22棟、オートキャンプ場／区画サイト23・一般サイト30張、林間区画サイト21、テニスコート2面、温泉館「なららこの湯」。
問) TEL0537-25-2055

■深蒸し掛川茶

掛川で作られるお茶は、普通煎茶よりも蒸し時間を2～3倍長くした「深蒸し煎茶」が主流です。陽射しをたっぷりと浴びた肉厚の茶葉は、長く蒸すことで、甘く濃厚な味わいのお茶になります。また、茶葉の組織が適度にほぐれ、カテキンはもちろん、お湯や水に溶けにくい食物繊維やミネラルなどの成分も、より多く摂取することができることも特徴です。

■栗ヶ岳

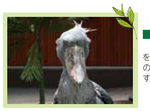
標高532mの栗ヶ岳は桜の名所として有名。ソメイヨシノ、里桜、山桜など約500本が咲き誇ります。眼下には富士山静岡空港や広大な茶園、天竜浜名湖鉄道、東海道新幹線、遠州灘まで一望できます。

■栗ヶ岳世界農業遺産茶草場テラス（かっぽしテラス）

栗ヶ岳は標高532mで、晴れた日の山頂からの眺めは最高です。眼下には伝統的農法が認つてきた広大な茶園が繰りなす美しい景色をはじめ、富士山、静岡空港、駿河湾や南アルプスなどが一望できます。建物内併設のカフェでは、地元の食材を使用した逸品を味わうことができます。

■小笠山

掛川市のほぼ中心に位置し、袋井市と連接する標高265mの小笠山からなる一連の山系は、南のゆるやかな傾斜と北側の急な斜面とが対照的な形をしています。赤松の群生のほか数多くの植物や野鳥の宝庫として有名です。山頂からの眺望も素晴らしく、1年を通して多くのハイカーでにぎわいます。四季折々に富んな自然の中でたっぷりの森林浴を楽しみましょう。



■掛川花鳥園

広大な敷地の中に冷暖房完備の温室を備え、一年中快適な空間で花や鳥とのふれあいが楽しめるテーマパークです。

■潮騒橋

潮騒橋は、浜松御前崎自転車歩行者専用道路橋。橋の上からは、遠州灘の景色が楽しめます。また、全国的にも珍しい逆アーチ一見の価値があります。

■リバティーリゾート大東温泉

ジャングルをテーマにした館内で、南国ムード満点の非日常空間を楽しめます。露天風呂、サウナ、寝湯などが楽しめる天然温泉や、ジャングル気分が味わえるカフェテリアなど魅力あふれるスポットを有しており、心も体もリフレッシュできます。

■ゆるゆる遠州サイクルツーリズム

この「遠州」地域では、ゆるゆるとした"適度に起伏した地形"と、里山から里海まで変化に富んだ風景が、訪れるサイクリストを魅了します。早い坂道だらけの山岳ではなく、平坦地をただただ走り続けるのでもない。ちょっと過ぼみなサイクリングをお楽しみください。

■掛川三城御城印

掛川市内に位置する掛川城、高天神城、横須賀城を掛川市では、三城物語といいます。この今川、武田、徳川による遠州を巡る争い、三城物語を御城印で表現しました。(掛川城オリジナル御城印とはデザインが異なります。)

■文化会館シオーネ

大小のホール、会議室、団体交流室、展示ロビー、野外ステージ等を備えた地域の文化創造拠点。シオーネの前の「そよかぜ広場」では、春に菜の花、夏にはひまわり、秋にはコスモスが咲いっぱいに咲き誇ります。

No.2

No.3

No.4

No.5

■ステンドグラス美術館

日本初となる公立のステンドグラス美術館として開館。19世紀イギリスで制作されたステンドグラスの名品から当光のシャワーが降り注ぎます。

■二の丸美術館

地域の芸術文化活動の拠点施設として、細密工芸・近代日本画・郷土で活躍した人々の作品などを公開しています。

■ねむの木村

「ねむの木村」は、女優宮城まり子さんが中心となって村づくりを進めてきた"福祉と教育と文化の里"。健康な人、ハンデをもった人、お年寄り、若者がともに暮らせる温かい心の施設です。

■ねむの木こども美術館

ねむの木村内にある美術館。森の中に静かにたたずむ白壁の建物の中には、ねむの木のこどもたちの絵が展示されています。豊かな色彩と大胆な構図から、こどもたちの感性の豊かさに触れることができます。

■横須賀城跡(国史跡)

戦国時代末期、徳川家康が高天神城攻略の拠点として、家臣の大須賀康高に命じて築かせた城。中世城郭と近世城郭の特徴を併せ持った"平山城"で、国の文化財に指定されています。大手門が、東西にあることから「問頭の城」との異名をもっています。

■掛川城御殿(国重文)

掛川城主の公邸、藩の役所、公式式典の場などとして使用されました。現存する御殿は、江戸時代後期に再建された建物で、全国で四カ所にしか残っていない大変貴重なもの。昭和55年に、国指定重要文化財に指定されています。

■高天神城跡(国史跡)

「高天神を制するものは遠州を制する」といわれた要衝。戦国時代に徳川、武田の両雄が攻防戦を繰り広げた決戦場で、東海一の堅塁を誇った山城です。標高132mの麓当山の地形を巧みに生かした高天神城は、「難攻不落の名城」とよばれていましたが、家康の兵糧攻めに遭い落城しました。兵(つわもの)どもが夢の跡…、深い緑の影を落とすオペに覆われた城跡は、戦国ロマンを秘めながら静かに時を重ねています。

■掛川城天守閣

堂和時代、駿河の守護大名今川氏が遠江進出を狙い、家臣の朝比奈氏に命じて築城させたのが掛川城のはじまりです。戦国時代には山内一豊が城主として10年間在城。現在の掛川城は、平成6年4月に「東海の名城」と呼ばれた美しさそのままに、日本初の木造天守閣として復元されたものです。

No.6

No.7

■事任八幡宮（ことのままはちまんぐう）

事任八幡宮は「枕草子」にも名前が記され"祈りの芸のままに事が叶う"芸霊の神として信仰されています。この神木の大杉は、坂上田村麻呂が植樹したと伝えられ、市の天然記念物に指定されています。例大祭は秋に行われます。

No.8

■資生堂企業資料館・アートハウス

資料館では、創業以来の歩みを紹介するとともに、パッケージ・新聞・雑誌広告・テレビCMなど広告作品を公開。アートハウスでは、絵画・彫刻・工芸品など、近現代のすぐれた美術品を一般公開している美術館です。

■キウイフルーツカントリー Japan

世界中のキウイをはじめ、茶摘み、茶づくり体験、野菜や果物などの収穫、動物とのふれあいが楽しめます。自然をテーマにした遊びのスペースが盛りだくさんです。

No.9

No.10

No.11

No.12

No.13

No.17

No.18

■吉岡彌生記念館

掛川出身の吉岡彌生は、東京女子医科大学の創始者として、日本の近代医学史に大きな足跡を残した人物です。女性の社会参画と地位向上をテーマとする思想が「志」「翔」「愛」のステージに展開されています。

■かけがわ西の市

掛川市北西部にある、約300名の出荷者でつくった直売所です。新鮮な農産物とそれらを使った手作り弁当や惣菜、美しい花々等が皆さんのご来店をお待ちしています。

■リバティーリゾート大東温泉

ジャングルをテーマにした館内で、南国ムード満点の非日常空間を楽しめます。露天風呂、サウナ、寝湯などが楽しめる天然温泉や、ジャングル気分が味わえるカフェテリアなど魅力あふれるスポットを有しており、心も体もリフレッシュできます。

■ゆるゆる遠州サイクルツーリズム

この「遠州」地域では、ゆるゆるとした"適度に起伏した地形"と、里山から里海まで変化に富んだ風景が、訪れるサイクリストを魅了します。早い坂道だらけの山岳ではなく、平坦地をただただ走り続けるのでもない。ちょっと過ぼみなサイクリングをお楽しみください。

■掛川三城御城印

掛川市内に位置する掛川城、高天神城、横須賀城を掛川市では、三城物語といいます。この今川、武田、徳川による遠州を巡る争い、三城物語を御城印で表現しました。(掛川城オリジナル御城印とはデザインが異なります。)

■文化会館シオーネ

大小のホール、会議室、団体交流室、展示ロビー、野外ステージ等を備えた地域の文化創造拠点。シオーネの前の「そよかぜ広場」では、春に菜の花、夏にはひまわり、秋にはコスモスが咲いっぱいに咲き誇ります。

■横須賀凧

横須賀凧の歴史は古く、戦国時代、武田と徳川方による高天神合戦の際に、敵の陣地の測量や通信手段などに利用されたのが、その始まりといわれています。横須賀凧が殆い消えて多彩になったのは江戸時代から。人々が競い凧揚げを重ねた結果、様々な意匠のものが誕生し、10種類以上にもなるといわれています。毎年2月第一日曜日には「遠州横須賀凧揚げまつり」を開催しています。

■横須賀凧 ピンバッチ

横須賀凧の種類は多く、10種類以上にもなるといわれています。徳川方が武田勢をはさみ打ちにしている様子を表しているといわれる「巴」、武装の鉢に似せて作られたと言われ、縁起物ばかりが描かれ祝い凧として人気の「とんがり」、三河万歳の演者の姿を模したといわれる「べっかこう」などがあります。

■高天神城 ピンバッチ

高天神城で攻防を繰り広げられた武田信玄と徳川家康の兜と、高天神社の家紋をかたどりました。

(横須賀凧ピンバッチ販売場所)
掛川観光協会ビジターセンター「旅のスイッチ」(0537-24-8711)
「掛川南部観光案内処」(0537-48-0190)
(高天神城ピンバッチ販売場所)
掛川観光協会ビジターセンター「旅のスイッチ」(0537-24-8711)
「大東北公民館」(0537-74-2200)

■掛川祭・掛川大祭（次祭は3年に一度）

掛川城が今川氏の家臣朝比奈泰煕により、遠州の護りとして築城されたのは約500年前。掛川祭は、ほぼ同時代に興ったとされるお祭りで、三年に一度の大祭と小祭があります。

■中八坂神社 紙面祭

京都八坂神社の紙面祭を伝承する中八坂神社紙面祭。先祭子の舞を先頭に、籠やかに神社に向かいます。本祭の神事と紙面囃子は昭和59年に静岡県無形民俗文化財に指定されています。

■遠州横須賀三熊野神社大祭

県無形民俗文化財第1号の三社祭礼囃子で盛り上がるこの祭典の呼び名ものは、神輿御渡と祭やかな十三台の祢里(ねり)の曳き囃し、「シタ、シンケツ」という威勢の良い掛け声が響き渡ります。毎年、県外からも多くの見物客が訪れます。

■遠州横須賀街道 ちっちゃな文化展

「ちっちゃな文化展」の特徴の1つは、普段生活しているお宅の軒先や部屋、土間を借りてイベントが催されるところにあります。美しい町並みとすばらしい芸術作品の数々、そして人情味あふれるここ遠州横須賀に来てみませんか?(10月下旬開催)

No.16

■バイク・フレンドリー・ステーション

掛川観光協会は、自転車による旅(サイクルツーリズム)の普及を推進しています。掛川を訪れるサイクリストの皆さまに自由に使っていただける空気入れと、簡易工具を市内44箇所にご用意しています。※このマップ上では●の印で案内しています。

総人口 116,652人
総世帯数 46,119世帯
令和3年5月31日現在

平成17年の旧1市2町の合併に伴い、掛川市の頭文字「K」をモチーフにして、掛川市の将来像「海と山と街道がつながり、夢・未来を創るまち」をキャッチの花の形でイメージ、市章をデザインしました。

市の花「きさい」
宿根草で、栽培は容易です。花色は黄、白などがあり、通常6月頃より咲きます。花の形は市章のデザインにも採用されています。

市の木「さんもくせい」
市内各所に植えられていますことだいたい色の花をつけより香りを放つ美やかしい樹木です。

市の鳥「うぐいす」
市内全域に生息。「ホーホケキョ」という鳴き声で親しまれ、その美しさと品の良さで知られています。